

2018年5月期 第2四半期決算説明資料

株式会社 GameWith 2018年1月10日

AGENDA



- 1 第2四半期決算概要
 - 2 第2四半期のトピック
 - 3 今後の事業戦略
 - 4 業績予想の進捗
 - 5 株主・投資家の皆様へ
 - 6 補足説明資料

GameWith

1 第2四半期決算概要

2018年5月期第2四半期(累計)の業績ハイライト



全ての主要損益が、前年同期実績を上回る結果で着地

	2017年5月期		2018年5月期	
(単位:百万円)	第 2 四半期 (累計)	第 2 四半期 (累計)	増減額	増減率
売上高	642	1,286	+643	+100.3%
営業利益	227	624	+397	+174.8%
経常利益	226	622	+395	+174.2%
当期純利益	156	444	+288	+184.5%

2018年5月期第2四半期の業績ハイライト



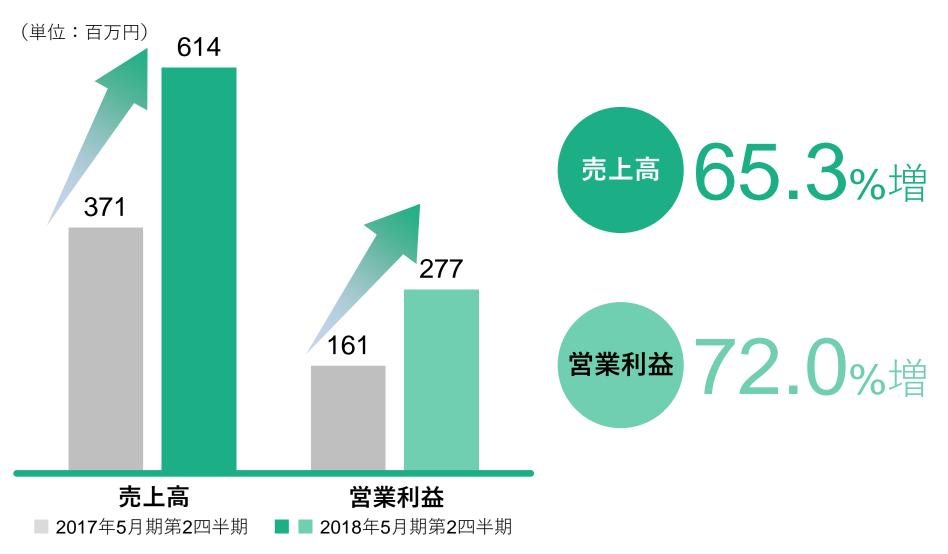
全ての主要損益が、前年同期実績を上回る結果で着地

	2017年5月期		2018年5月期	
(単位:百万円)	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率
売上高	371	614	+242	+65.3%
営業利益	161	277	+116	+72.0%
経常利益	160	276	+116	+72.1%
当期純利益	110	197	+87	+78.6%

2018年5月期第2四半期の業績



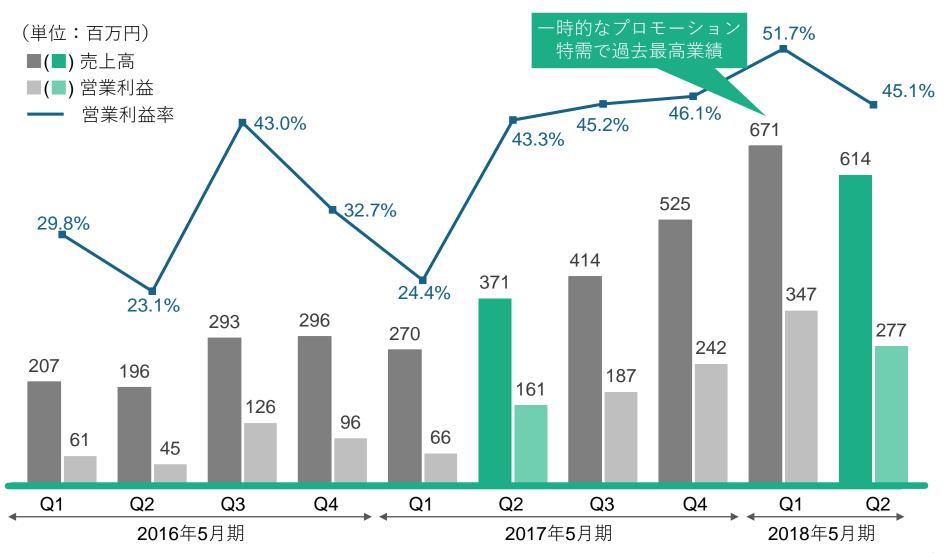
前年同期比で増収増益。タイアップ広告の受注が伸び、収益に寄与



売上高・営業利益の四半期推移



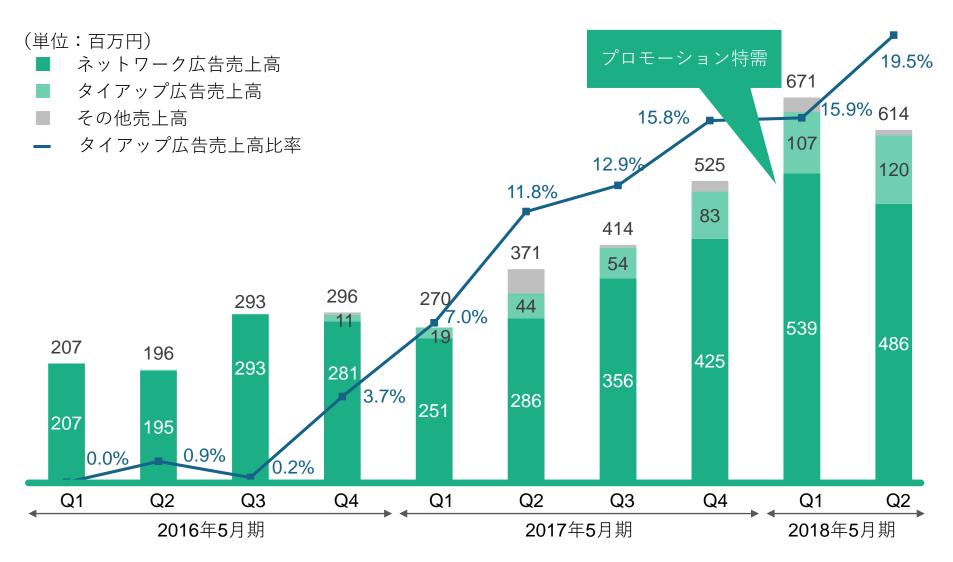
- ・第1四半期は、特定タイトルの一時的なプロモーション特需等の影響により、過去最高業績
- ・第2四半期は、当該要因はないが、引き続き堅調推移



商材別売上高構成の推移



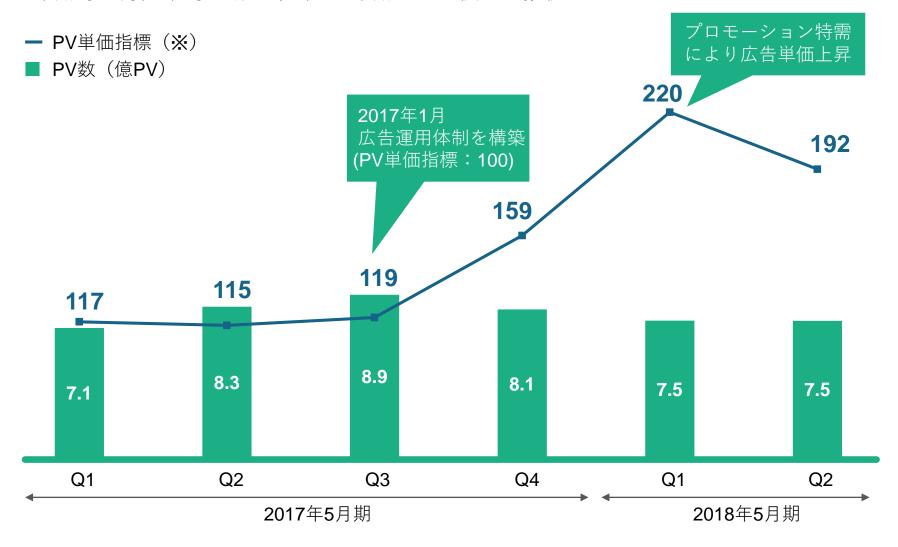
- ・ネットワーク広告は、一過性のプロモーション特需があった第1四半期を除き過去最高
- ・タイアップ広告は堅調推移し、過去最高を記録。需要は大きく、売上に占める比率も上昇



PV単価指標・PV数の推移 (四半期ベース)



- ・四半期毎の月間平均PV単価指標(※)は、一過性の影響があった第1四半期を除き過去最高
- ・四半期毎の月間平均PV数は、第1四半期と比べ横ばい推移



※PV単価指標とは、広告運用体制を構築した2017年1月次の月間平均PV単価を基準値100とした場合のPV単価の変化

2018年5月期第2四半期の貸借対照表



収益性及び成長性を実現する一方で、自己資本比率は83.0%と引き続き安定性を確保

(単位:百万円)	2018年5月期 第1四半期	2018年5月期 第2四半期	増減額	増減率
流動資産	2,079	2,354	+274	+13.2%
現金及び預金	1,611	1,979	+367	+22.8%
固定資産	194	238	+44	+22.8%
総資産	2,274	2,592	+318	+14.0%
流動負債	293	414	+121	+41.2%
固定負債	26	26	▲0	▲ 1.0%
純資産	1,954	2,152	+197	+10.1%
自己資本比率	85.9%	83.0%	-	▲ 3.4%

GameWith

2 第2四半期のトピック

トピック①: GameWithアプリのリリース



アプリ(iOS/Android)をリリース。コミュニティ、ゲーム攻略、ゲームレビューを統合





コミュニティ

ゲームユーザー同士で 交流できる機能を提供



ゲーム攻略

ゲームを有利に進める ための情報を提供



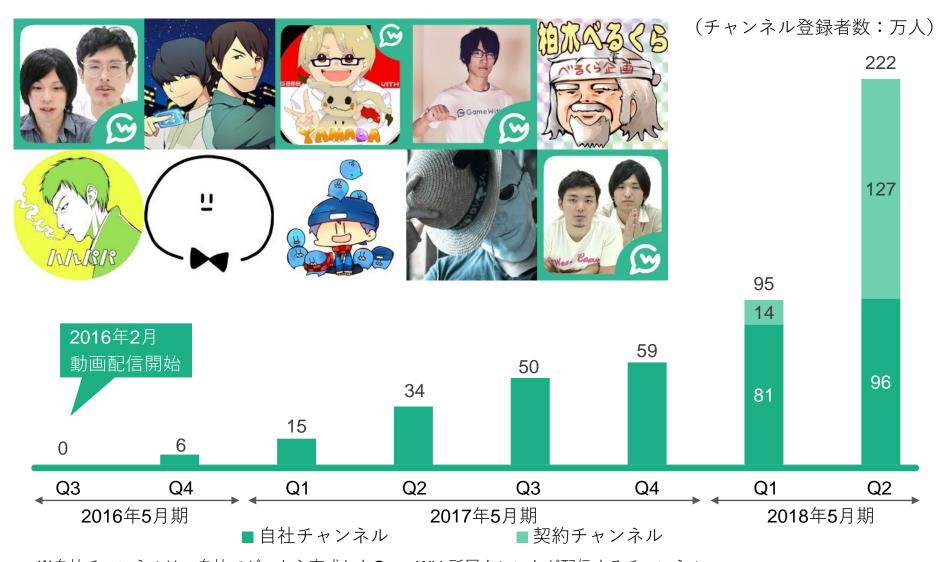
ゲームレビュー

ゲームを見つける ための情報を提供

トピック②:動画配信のチャンネル登録者数



合計チャンネル登録者数は222万人に飛躍



※自社チャンネルは、自社でゼロから育成したGameWith所属タレントが配信するチャンネル 契約チャンネルは、既に外部で活動し、GameWithと専属マネジメント契約を締結したタレントが配信するチャンネル 12

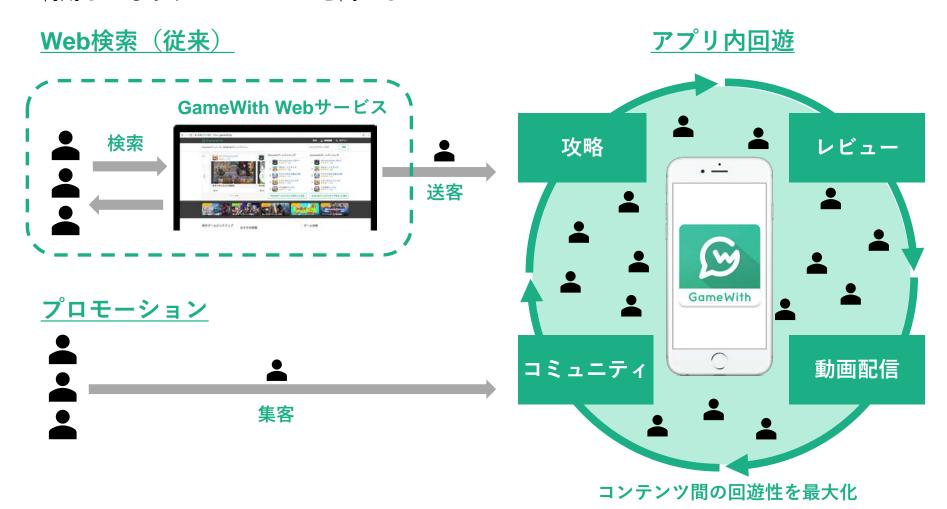
GameWith

3 今後の事業戦略

事業戦略:①アプリ展開



- ・従来のWebサービスに加え、アプリ展開を開始。「フロー型」から「ストック型」を目指す※
- ・アプリ化することでゲームに関する第一想起を獲得し、検索エンジンを介さずに直接アプリを 利用してもらうことでシェアを高める

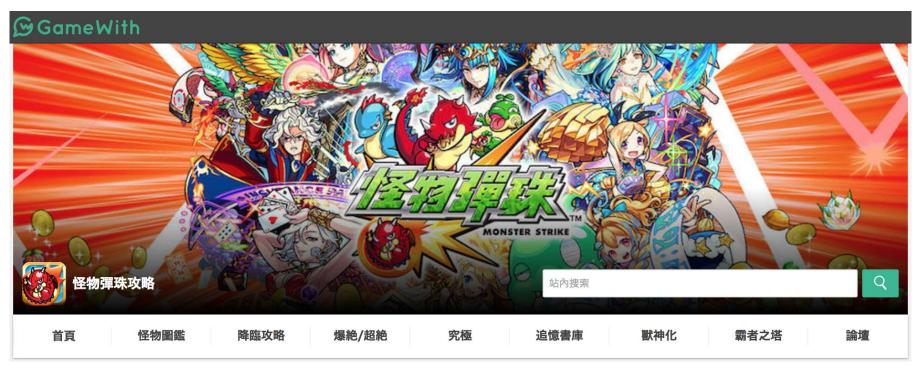


※フロー型とは、ユーザーがWeb上で都度検索流入し、利用するサービス。ストック型とは、ユーザーが都度検索流入するのではなく、特定のアプリを一度ダウンロードし、それを継続利用するサービス。

事業戦略: ②海外展開(台湾進出)



- ・モバイルゲームプレイヤー数は、世界に**15**億人※
- ・初の海外展開として台湾版「GameWith」をリリース。株式会社ミクシィが提供する繁体字版「モンスターストライク」の攻略サイトを展開



©XFLAG

GameWith

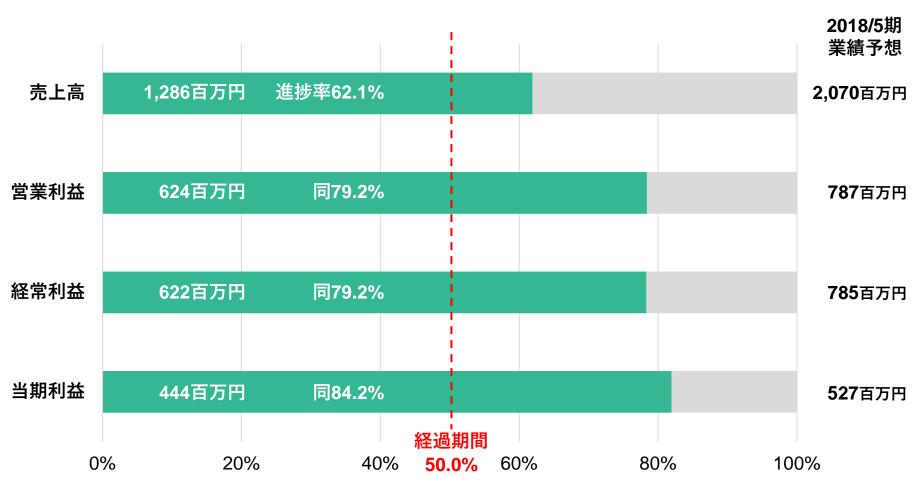
4 業績予想の進捗

2018年5月期の業績予想に対する進捗



予想を上回る進捗。足元の事業環境を見極めながら、成長資金の積極投下も視野に入れており、 業績予想は据え置き

- ① PV数推移の慎重な判断:足元の事業環境及びユーザー行動を慎重に見極める
- ② 戦略の実行:アプリ展開や海外展開を実行すべく、バランスを図りつつ成長資金を積極投下



GameWith

5 株主・投資家の皆様へ

株式分割及び株主優待制度の導入



■ 株式分割

(1) 目的

投資単位金額の引下げにより、株式の流動性向上と投資家層拡大を図るため

(2) 株式分割の概要

①基準日 : 2018年1月31日 (水)

②分割比率 :株主が所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割

③効力発生日:2018年2月1日(木)

■ 株主優待制度の新設

(1) 目的

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、より多くの方々に当社株式を中長期的 に保有して頂くため

(2) 株式分割の概要

①対象となる株主様:毎年5月31日現在の株主名簿に記載または記録された

当社株式100株(1単元)以上保有の株主様を対象

②株主優待の内容 :対象の株主様に対し、一律にクオカード1,000 円分贈呈

③贈呈の時期 :毎年8月下旬の定時株主総会後の発送を予定

※株式分割及び株主優待制度については、当社IRページ(https://gamewith.co.jp/ir)をご参照ください。

GameWith

6 補足説明資料



会社名	株式会社 GameWith(証券コード:6552)		
所在地	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー20階		
事業内容	ゲーム情報等の提供を行うメディア事業		
設立	2013年6月		
役員構成	代表取締役社長 今泉 卓也 取締役 眞壁 雅彦 取締役 東 陽亮 取締役 村田 祐介(非常勤) 取締役(社外) 武市 智行(非常勤) 常勤監査役(社外)半谷 智之 監査役(社外) 後藤 勝也(非常勤) 監査役(社外)		
資本金	481 百万円(2017 年 11 月末時点)		



ゲームをより楽しめる世界を創る

"Create a more enjoyable gaming experience"



国内最大級のゲームメディアを運営

ゲーム攻略

ゲームを有利に進めるための 情報を提供



ゲームレビュー

ゲームを見つけるための 情報を提供



コミュニティ

ゲームユーザー同士で 交流できる機能を提供



動画配信

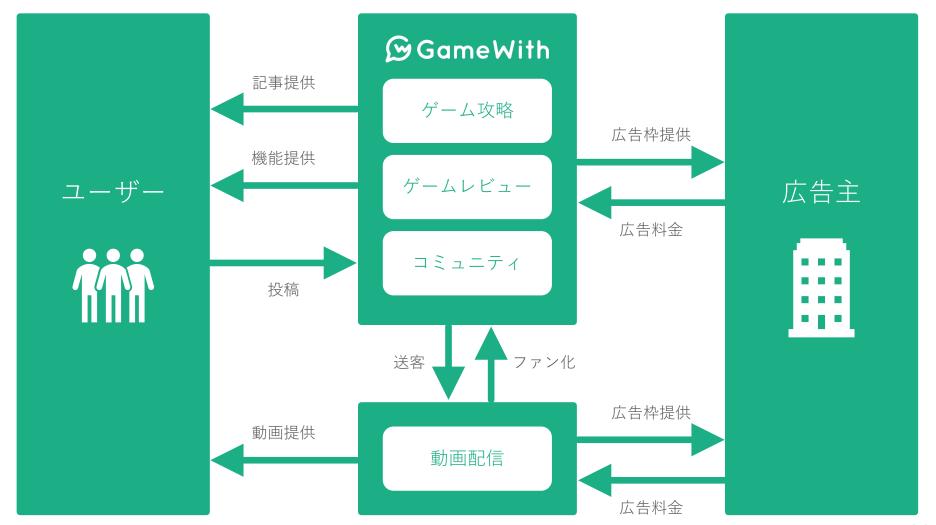
専属のゲームタレントが YouTubeで動画を配信



ビジネスモデル



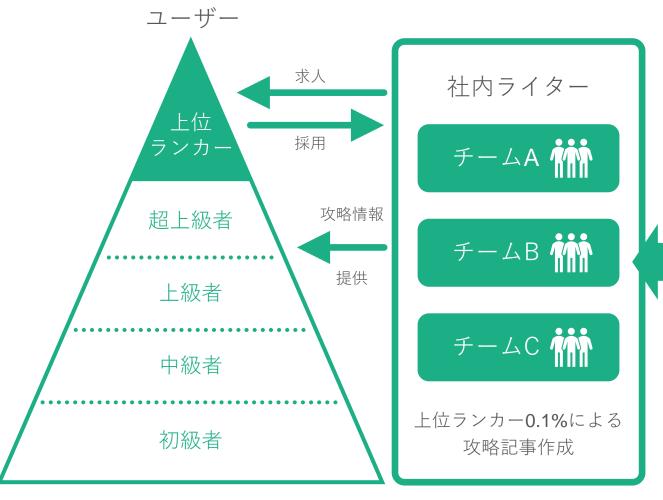
- ・ゲームに必要な記事や機能を提供することで、ユーザーを集客
- ・広告枠を広告主に提供することで収益化を実現

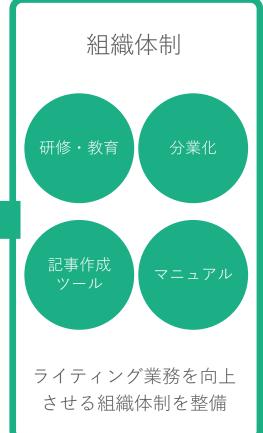


ゲーム攻略(1)



上位ランカーを採用し、組織的に記事作成を行うことで、 イベントに素早く対応し、正確な記事を高頻度で更新する仕組みを構築

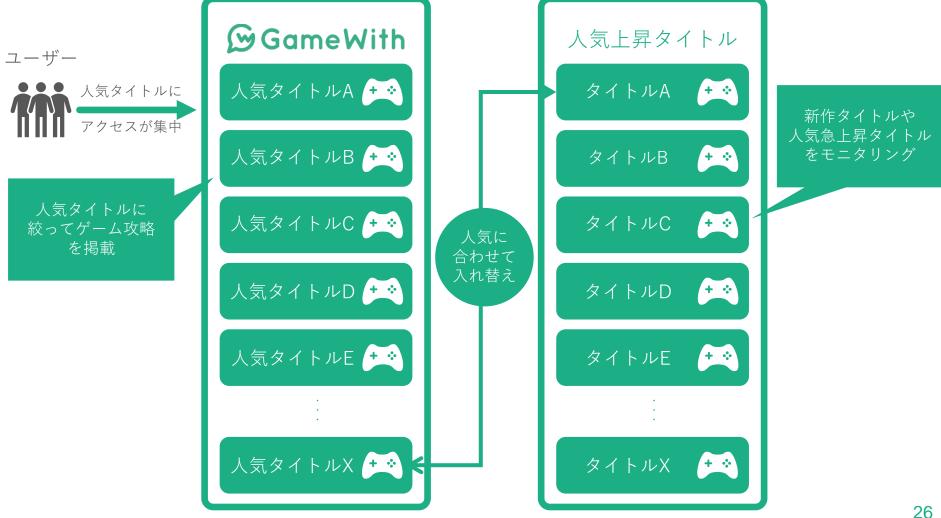




ゲーム攻略(2)



人気に合わせて取り扱いタイトルを入れ替えることで、 安定して高いトラフィックを確保





アプリストアにはない付加価値を加えることで、**GameWith**上でゲームを 探してもらう

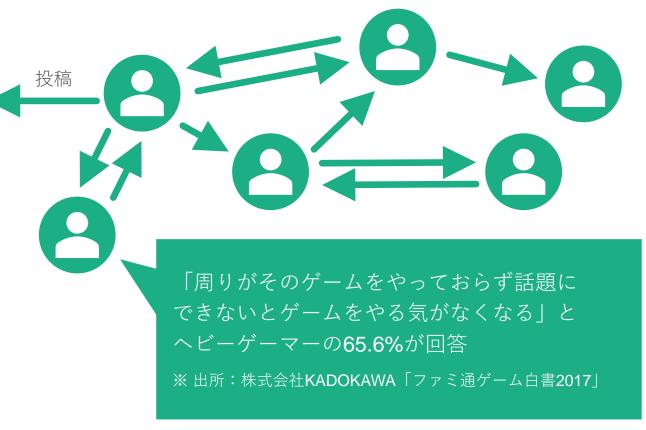


コミュニティ



- ・ゲーマー同士で交流ができるコミュニティ機能を提供
- ・同ゲームのユーザーを繋げることでゲームへの熱量が向上

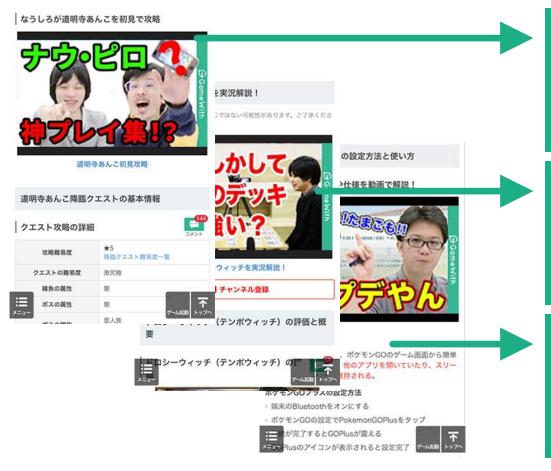






- ・トラフィックを活かし自社でタレントを育成
- ・高確率で人気配信者にするメソッドも確立

攻略情報に動画を貼りタレント露出を高める



0から育成した **GameWith**所属タレント

なうしろ



むじょっくす



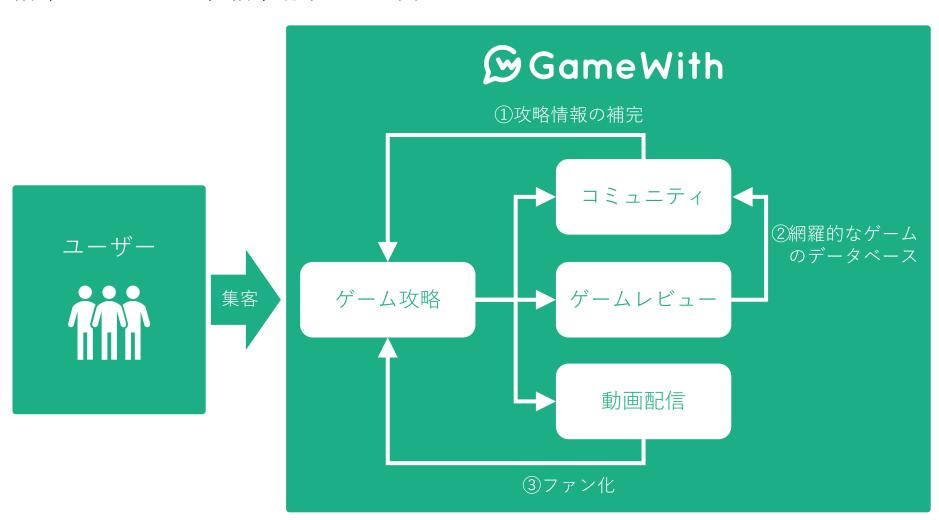
やまだ



GameWithの強み



ゲーム攻略情報で集客したユーザーをゲームレビューなどの各サービスへ 循環させることで、相乗効果を生み出す





本資料に含まれている将来の見通しに関する記述は、本資料の発表日 現在において入手可能な情報を基にした判断及び仮定に基づいて作成 されたのであり、その正確性を保証するものではありません。

実際の業績は、これらの判断及び仮定に含まれる様々な不確定要素、 リスク要因の変更や経済環境の変動などにより、見通しと大きく 異なる可能性があります。